



化学部門で「リチウム回収プロセスの社会実装化を目指して」 に関する講演会を開催

【概要】

2024 年 8 月 10 日（土）に、理工学部化学部門の主催により、レアメタル技研（株）CEO の吉塚和治先生（北九州市立大学名誉教授）による講演会を開催しました。

【本文】

2024 年 8 月 10 日（土）に、理工学部 6 号館 2F 多目的セミナー室にて、今年 3 月に北九州市立大学国際環境工学部を定年退職され、現在、レアメタル技研株式会社の CEO を務められる吉塚 和治先生による「リチウム回収プロセスの社会実装化を目指して」と題した講演会を開催しました。本講演会は、西九州化学工学懇話会主催のもと、理工学部化学部門の大渡啓介 教授の企画により開催されました。

吉塚先生は、本学理工学部にて 2001 年 3 月まで勤務された後、同年 4 月より北九州市立大学国際環境工学部の教授として勤務されました。本学在職中に開始したリチウムイオン電池の廃材を利用したリチウムイオン回収剤の開発を長年にわたり行い、国内の海水や地熱水、海外ではボリビアのウユニ塩湖からのリチウム回収に携わってきました。

今回の講演では、リチウム資源と取り巻く国内外の動向、本学海洋エネルギー研究センター（現海洋エネルギー研究所、IOES）でも行われた海水からのリチウム回収、塩湖かん水からのリチウム回収、地熱水からのリチウム回収について長年培ってきた知見を紹介いただきました。2009 年にテレビ大阪が製作した『カイロスの微笑』のレアメタル争奪戦の動画も紹介され、講演予定時間を大幅に超えましたが、講演後にたくさんの質問がなされました。学術的な内容だけでなく、実用化に向けた取り組みやベンチャー企業の立ち上げなどの実績が、参加者に大きな影響を与えたと考えます。

講演は対面のみで行われ、講師、再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム（CIREn）会員、化学部門の教員、学生、卒業生を含めて 36 名が参加しました。



講演前の吉塚先生の紹介の様子



聴講者の様子